あたらしい本

第252号 2024. 12. 15 発行（こども版）

たくさんよんでくださいね！

「そらのいろ」　荒木　健太郎/文・写真・絵
（空となかよくなる天気の写真えほん）　金の星社（えほん3～5歳・小初向き）

身近な空で出会える、魔法のようなそらのいろ。朝焼け、夕焼け、青空、夜明け前、夕焼け後のほんのわずかな間あらわれるブルーモーメントなど、そらのいろのしくみを美しい写真で紹介します。

「おはなしはどこからきたの？　南アフリカのむかしばなし」
保立　葉菜/絵　さくま　ゆみこ/文　BL出版（えほん3～5歳・小初向き）

アフリカの南にある小さな村に、マンザンダバという女の人がいました。子どもたちにおはなしをせがまれましたが、考えてもおはなしはひとつも浮かんできません。そこで、マンザンダバはおはなしを探しに出かけ…。

「ふゆのおばけずかん ばつひので」斉藤　洋/作　宮本　えつよし/絵
講談社（よみもの　小初向き）

ふゆには、こわ～いおばけがいっぱいいます。でも、このお話を読めば、だいじょうぶ！「ばつひので」をはじめ、「サンダークロース」「しにがみフードコート」など、こわいおばけの話全７話を収録。

「あそび室の日曜日　マグロおどりでおさきマっグロ」
村上　しいこ/作　田中　六大/絵　講談社（よみもの　小初向き）

ここは、せんねん町の、まんねん小学校。捨てられることになった、図書室の節分の本の中から出てきたオニを見つけた、あそび室のおもちゃたち。新しい居場所を探そうと、食べ物屋さんが集まる場所へ行くと…。日曜日シリーズ。

「おばあちゃんのあかね色」　楠　章子/作　あわい/絵

佼成出版社（よみもの　小中向き）

認知症になってしまったおばあちゃん。おばあちゃんが、おばあちゃんらしくいられるように、杏は、ふたりの共通の趣味だった「おしゃれ」のお手伝いをはじめ…。認知症との共生を考える物語。

「ぐうたら魔女ホーライまた来た！」　柏葉　幸子/作　長田　恵子/絵

理論社（よみもの　小中・小上向き）

不思議な世界に住む魔女のホーライがまた、サヤのところへやって来た。こちらの世界でベビーシッターをできる幽霊を探して、連れていかなければならないらしい。こちらの世界に、幽霊がいるかもわからないのに…。

「ワルイコいねが」　安東　みきえ/著　講談社（よみもの　小上向き）

「ね、人のしぬことにきょうみがある人って、どうおもう？」思ったことを言えない美海は、正直すぎて周囲の顰蹙をかってしまう転校生のアキトと仲良くなった。アキトは少し変わっているだけだと思っていた美海だが…。

「ぼくの中にある光」　カチャ・ベーレン/作　原田　勝/訳

岩波書店（よみもの　小上向き）

嵐のような心を持てあますゾフィア。暗がりや大きな音が苦手なトム。それぞれ親ひとり子ひとりの生活が気に入っていたのに、突然「家族」になった２人は、互いを受け入れられなくて…。

坂戸市立中央図書館　TEL281－6369

※図書館流通センター「新刊全点案内」より引用